

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成27年12月17日 (2015.12.17)

【公表番号】特表2015-503152(P2015-503152A)
 【公表日】平成27年1月29日 (2015.1.29)
 【年通号数】公開・登録公報2015-006
 【出願番号】特願2014-542483(P2014-542483)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 13/00 (2006.01)

H 0 4 N 17/00 (2006.01)

H 0 4 N 21/258 (2011.01)

【 F I 】

G 0 6 F 13/00 5 5 0 A

H 0 4 N 17/00 M

H 0 4 N 21/258

【手続補正書】

【提出日】平成27年10月28日 (2015.10.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ディスプレイデバイス上へのウェブページのレンダリングの記録を備えるビデオデータをキャプチャするステップと、

前記ウェブページの少なくとも一部のレンダリングに関連付けられる時間ベースのレンダリングメトリックを計算するのに十分に前記ビデオデータを分析するステップであって、前記時間ベースのレンダリングメトリックは、ウェブページのロード時間に関連する定量的データを備える、ステップと

を含む、方法。

【請求項 2】

システムリソース利用を分析し、該分析されたシステムリソース利用と前記時間ベースのレンダリングメトリックを使用して、前記ウェブページの前記少なくとも一部がレンダリングされる時を識別するよう試みるステップを更に含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記ディスプレイデバイス及びグラフィクスプロセッサユニット (GPU)の更新頻度を分析し、該分析された更新頻度と前記時間ベースのレンダリングメトリックを使用して、前記ウェブページの前記少なくとも一部がレンダリングされる時を識別するよう試みるステップを更に含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記時間ベースのレンダリングメトリックは、前記ウェブページが部分的に又は完全にレンダリングされる時を識別する試みに関連付けられる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記ビデオデータをキャプチャするステップは、前記ビデオデータに関連付けられる識別子であって、前記ウェブページへのナビゲーションが始まると思われる時を識別する識別子を提供することを含み、該識別子は、視覚的識別子を備える、請求項 1 に記載の方法。

。

【請求項 6】

前記分析するステップは、前記ビデオデータの開始フレームを指定して、該開始フレームを、後続フレームとの差分比較のための基準イメージとして使用することによって、前記ビデオデータをフレームごとに分析することを含み、前記差分比較は、前記ディスプレイデバイスに関連付けられる画面ベースで実施される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

コンピュータプログラムであって、プロセッサによって実行されると、該プロセッサに
ディスプレイデバイスにおいて、ウェブページへのナビゲーションに関連して、ビデオデータのキャプチャを開始するステップと、
前記ナビゲーションが始まると思われる時を識別するステップと、
ビデオを作成するために効果的な前記ビデオデータのキャプチャを終了するステップであって、前記ビデオが、前記ナビゲーションに関連付けられるビデオデータの複数のフレームを提供する、ステップと、
前記複数のフレームの視覚的特性を分析するステップと、
前記の分析に基づいて、前記ウェブページの少なくとも一部のレンダリング状態に関連付けられる時間ベースのレンダリングメトリックを計算するステップと
を含む方法を実行させる、コンピュータプログラム。

【請求項 8】

前記レンダリング状態は、完全にレンダリングされたウェブページに関連付けられる状態を含む、請求項 7 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 9】

前記識別するステップは、前記ディスプレイデバイスの画面上の視覚的識別子を使用することを含む、請求項 7 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 10】

前記視覚的特性を分析するステップは、前記ビデオデータの開始フレームを指定して、該開始フレームを、後続フレームとの差分比較のための基準イメージとして使用することによって、視覚的特性をフレームごとに分析することを含み、前記差分比較は画面ベースで実施される、請求項 7 に記載のコンピュータプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0062

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0062】

デバイス 1000 は、オーディオ及び / 又はビデオ入出力システム 1026 も含む。オーディオ及び / 又はビデオ入出力システム 1026 は、オーディオデータをオーディオシステム 1028 に提供し、及び / 又はビデオデータをディスプレイシステム 1030 に提供する。オーディオシステム 1028 及び / 又はディスプレイシステム 1030 は、オーディオ、ビデオ及びイメージデータを処理、表示、及び / 又は他の方法でレンダリングする任意のデバイスも含むことができる。ビデオ信号及びオーディオ信号を、RF（無線周波数）リンク、S-ビデオリンク、コンジットビデオリンク、DVI（デジタルビデオインタフェース）、アナログオーディオ接続又は他の同様の通信リンクを介して、デバイス 1000 からオーディオデバイス及び / 又はディスプレイデバイスに通信することができる。ある実施形態において、オーディオシステム 1028 及び / 又はディスプレイシステム 1030 は、デバイス 1000 の外部コンポーネントとして実装される。あるいは、オーディオシステム 1028 及び / 又はディスプレイシステム 1030 は、例示デバイス 1000 の内蔵コンポーネントとして実装される。